

11月9日は「119番の日」

慌てず・ゆっくり・はっきり



119番通報 は落ち着いて



「119番の日」は昭和62年に防火防災意識の高揚のため制定されました。

消防車や救急車をより早く出場させるため、適正かつ迅速な出場指令を出す必要があります。それには「119番の日」を機会に119番通報に対する理解と認識を深める事が大切です。

119番通報のかけかた

119番通報の際、通信指令員から「火事ですか？ 救急ですか？」と聞かれます。また、次のような情報をお尋ねしますので、落ち着いて慌てず、ゆっくり、はっきりとお答えください。



火事の場合

- ・住所（近くの目標物・何階か？）
- ・何が燃えているか？
- ・逃げ遅れはないか？
- ・通報者の氏名・電話番号



救急の場合

- ・住所（近くの目標物・何階か？）
 - ・誰がどうしたのか？
 - ・通報者の氏名・電話番号
- なお、適切な病院搬送を行うため、傷病者の年齢、持病、かかりつけの病院などをお尋ねする場合があります。
また、傷病者への気道確保や胸骨圧迫（心臓マッサージ）などの応急手当をお願いします。



事故の場合

- ・住所（近くの目標物等）
- ・どういう事故か？
- ・怪我人（閉じこめられている人）はいるか？
- ・通報者の氏名・電話番号

携帯電話からの通報にかかる注意点

携帯電話からの119番通報時に通報者の位置情報が消防署通信指令室に通知されるシステムですが、位置情報が十分確認できないことが多くあります。

▼車で走行中の方は、必ず安全な場所に停車してから119番通報してください。

▼通報場所の住所が分からない場合は、近くの人に聞く、目標物や道路の看板・電柱等で確認するなどの手段があります。

▼通報後も携帯電話に確認のため、消防署から折り返し電話をかけることがありますので、電源を切らないでください。

▼スマートフォンによる119番機能で「衝突事故検出機能」により自動車衝突事故等により端末に強い衝撃を検知すると警告音を発して警告表示されますが、キャンセルされない限り自動的に119番通報を行います。

網走消防でもiPhoneなどの緊急自動通報の誤報がありますが、端末を落としての衝撃（スキー場での転倒）や緊急SOS機能の誤作動で自動通報されたりしています。

その時は、消防署から折り返しの電話には必ず出て「間違いです。」とお伝えください。



- 緊急性のない相談や当番病院の問い合わせ／網走消防署 0152-43-2221
- 火災など災害案内は、テレホンガイド（自動音声） 0152-45-9922